

# 広報 県病院だより

県立大島病院：鹿児島県奄美市名瀬真名津町18-1

電話 0997-52-3611 FAX 0997-53-9017

【URL】<http://hospital.pref.kagoshima.jp/oshima/>

## 大島病院の理念

公立病院として、奄美の医療に貢献し、住民に信頼される病院を目指します。

- 1 わたしたちは、奉仕の精神をもって、患者様に接します。
- 2 わたしたちは、質の高い医療を提供することに努めます。
- 3 わたしたちは、地域の医療・福祉との連携に努めます。

## 県立大島病院の今後の展開

院長 眞田純一

県立病院の健全な運営を目指した、県立病院局主導による中期事業計画（平成23年～27年度）では、特に経営面では県立病院群5病院全体で黒字が達成され、先般開催された外部委員による”県立病院あり方委員会”において一定の評価をいただいたところですが、大島病院においても、黒字を達成することができました。各方面のご指導、ご協力そして職員のごんばりに感謝したいと思います。

この間、大島病院には救命救急センターが開設され、すでに2年が経過しました。本年4月からは鹿児島大学からのご配慮をいただき、救急科医師が昨年度の3名→4名となり体制の充実が図られ、12月にははいよいよ当面の最大の懸案であったドクターヘリの運航を開始します。平成27年7月から開始されたドクターヘリ準備委員会に引き続き、本年7月からは運航調整委員会が開催され、消防をはじめ自衛隊、警察、海上保安部、そして群島内各市町村との具体的な検討が行われています。現在群島内各地に約230箇所のランデブーポイント（消防とヘリの連携場所）が候補地として上げられ、調整が図られています。また事例によっては協力が必要な沖縄県との連携協議も進められているところです。ハード面では救命救急センター屋上ヘリポートへの給油設備や佐大熊地区におけるヘリ格納庫の建設も始まりました。

これまで自衛隊ヘリ等に頼っていた他の島々からの患者搬送時間が、ドクターヘリの運航開始により、大幅に短縮されます（従来の3～4時間が、当院よりのヘリ所要時間は片道でおおよそ喜界島15分、徳之島20分、沖永良部島30分、与論島40分で可能となります）。また現時点では残念ながら当院で対応できない重症例（心臓血管外科・周産期領域を中心に年間20～25例ありますが）の鹿児島（あるいは沖縄）への搬送（これも他の島々から当院への搬送と同様3～4時間かかっていますが）も自衛隊に頼ることなく約1



時間20分で可能となり、救命率の向上、後遺症の軽減に大きく寄与するものと思います（ただし夜間搬送についてはこれまで同様自衛隊への依頼となります）。ヘリ運航にあたっては、もちろん騒音や危険性の問題等、地域のみなさんへの周知、そして了承を得る必要がありますので、現在住民説明会を開催してご理解をいただけるように努力しているところです。

一方、保健所が中心になって進められている医療の集約、再編を目的とした“地域医療構想”は行政や医療機関間での検討でまとめられつつあり、本年10月にはおおよその方向性が示されることになっています。大島病院は地域の中核病院、地域支援病院として、高度急性期・急性期医療のさらなる充実を目指していきますが、診療内容としては地域がん診療連携拠点病院としての役割など、公立病院として地域に不足した医療体制の補完を考えていく責務も、常に念頭に置いておく必要があります。また5年間の取り組みがなされた中期事業計画を踏まえ、平成29年度からは新たな事業計画に基づき、さらに努力を重ねていくこととなります。今後ともみなさんのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

目 次

CONTENTS

- ◆ 県立大島病院の今後の展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ◆ 産婦人科外来☆劇的ビフォーアフター・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ◆ ～熊本地震を受けて～・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

■イベント

- ◆ 「奄美ドクターヘリ運航調整委員会」を開催・・・・・・・・・・・・ 5
- ◆ 「奄美ドクターヘリ運航調整委員会 消防・医療部会」を開催・・・・ 5

■院内委員会紹介

- ◆ 看護部教育委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6・7

■お知らせ

- ◆ 院内の絵画・写真を更新しました・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

## 産婦人科外来☆劇的ビフォーアフター

みなさんこんにちは！



今回は産婦人科外来の紹介をさせていただきます。(俺には関係ないぜ～と思われている男性の方も少しの間お付き合いくださいませ(\*^\_^\*))

当外来は1日平均、産科17名、婦人科20名の外来患者様を医師3名、助産師1名、看護師2名、看護助手1名のスタッフで対応しています。さて今年2月、外来では昭和59年の新館建て替えから初めての外来リフォームを行いました。これまでの産婦人科外来といえば、狭い・暗い（スタッフは明るい性格ですが^^）おまけに迷路状態で動線回りが悪いことも重なり、患者さんや妊婦さんには窮屈な思いをさせていました。（そろそろスタッフのダイエットも考えていましたが(ー\_ー)!!)

ところがリフォーム後・・・なんという事でしょう～♪患者さんの視界をさえぎっていた中央の大きな壁が取り外され、ダンスができそうなくらい広く、明るく風通しの良い外来になったではありませんか！さらにスタッフも若く見える効果つき！？ベビーカーや車イス使用の患者さんに不便をかけることなく、安全に広々と使えるようになりました。



診察室の入り口にはおもちゃコーナーを設置



また、2階救命センターの手前に妊産婦指導室の部屋も整備され、落ち着いた環境で産科病棟の助産師が個別に妊婦さんへの指導を行っています。群島一の産婦人科医療の中核機関として、他医療機関との連携を図りつつ、患者さんや妊産婦さんにとってより良い医療を提供できる様に今後も取り組んでいきたいと思えます。

みなさんも一度見学にいらっしやいませんか。レッドカーペットを敷いてお待ちしております♪

診察室も広々♪

## ～熊本地震を受けて～

### 県立大島病院DMAT派遣

4月16日未明の熊本地震本震を受け、災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣を行いました。  
2011年3月にDMATチームを結成後、初めての出勤となり、17日、熊本市南区の東病院にて、医師1名、看護師2名、放射線技師1名で医療活動に当たりました。



### 救護班派遣

4月24日、DMAT派遣に引き続き、救護班派遣を行いました。  
救護班は、医師1名、看護師2名、薬剤師1名、臨床検査技師1名の計5名であり、主に派遣先の病院において、救急外来勤務や病棟夜勤、特別養護老人ホームでの業務に従事しました。

### 熊本へ義援金

県立大島病院親和会は、4月27日名瀬保健所を通じて日本赤十字社に義援金を送りました。  
大島病院親和会を代表し、眞田純一院長が名瀬保健所を訪問し、四元俊彦所長に義援金を手渡しました。



## ■ イベント

### 「奄美ドクターヘリ運航調整委員会」を開催

12月のドクターヘリ運用開始に向け、平成28年7月19日（火）に、「奄美ドクターヘリ運航調整委員会」の初会合を行い、委員長に福元俊孝県立病院局事業管理者を選出し、奄美ドクターヘリの概要等の説明や運航要領（案）の協議などを行いました。

#### ＜奄美ドクターヘリの概要＞

- ・ 運航時間 午前8時30分から日没まで
- ・ 運航範囲 十島村及び奄美地域

#### ＜運航予定機＞

- ・ アグスタウエストランド社
- ・ 最大飛行距離 510 km
- ・ 最大巡航速度 時速 278 km



### 「奄美ドクターヘリ運航調整委員会 消防・医療部会」を開催

奄美ドクターヘリ運航調整委員会の作業部会である「第1回消防・医療部会」を平成28年8月9日（火）に開催し、沖縄県への搬送方法の協議や傷病者を救急車からドクターヘリに引継を行う「ランデブーポイント」の報告（8月1日現在、候補地は約230ヶ所）などを行いました。

なお、ランデブーポイントは、主に周囲に障害物のない学校や公園などであり、今後、土地所有者に使用承諾の依頼を行い、10月末までに承諾を得られた場所の一覧を各消防機関に送付することとしています。

## ■院内委員会紹介

### 看護部教育委員会

副総看護師長 榎 愛香

#### 1. 目的

看護専門職としての資質を高めるとともに、看護技術の向上および看護実践能力の向上を図る

#### 2. 活動実績

##### 委員

副総看護師長（教育担当） 1名

看護師（各セクション） 1名

##### 定例会

毎月第1水曜日 16時～17時

##### 活動内容

#### 1) 共通学習計画の企画・運営

- ①総看護師長講話
- ②救急看護
- ③看護研究計画・看護研究発表会
- ④固定チームナースング発表会
- ⑤「親学」研修会
- ⑥看護部伝達研修会
- ⑦「チームステップス」研修会
- ⑧「在宅医療」研修会

#### 2) ラダー別研修の企画・運営

- ① ラダー1 基本的看護技術演習  
振り返り（3ヶ月・6ヶ月・1年）
- ② ラダー2 基本的看護技術レベルアップ  
看護事例発表会（2年目）  
日々リーダー研修2回（3年目）  
チームステップス
- ③ ラダー3 リーダーシップ研修
- ④ ラダー1～4 看護を語る 一人一事例発表

#### 3) 看護部門部署別学習計画の企画・運営

看護師や認定看護師、MEや医師等が講師を務め、各部署月1回～2回テーマを決めて開催している。救急科医師の指導による救急看護研修では、部署毎に特徴的事例に沿ったシミュレーション研修を行っている。

#### 4) 配信教育（e-ラーニング）

平成27年度から取り入れ、研修会での活用や個人で視聴を行っている。看護委員会では毎月ランチョンセミナーで活用している。

5) 教育の評価

- (1) 共通教育の「看護研究」「親学」「在宅医療」「チームステップス」「リーダーシップ」研修など、さまざま分野の外部講師を招き研修会を開催し多くの参加があった。また看護研究は平成27年度院外発表が1部署のみであり、教育委員会として看護研究へ積極的に取り組んで行く必要がある。
- (2) ラダー別研修への平均参加率は97.8%とほとんどの看護師が参加できている。  
ラダーにおける「看護を語る 一人一事例発表」では、新人は「看護の振り返り」、それ以外のラダー1, 2, 3はそれぞれ「事例検討」「看護を語る」の研修において事例を発表している。自分の看護をまとめ振り返ること、また他者の看護を聴くことは意味のある研修であると考えられる。
- (3) 部署での学習会を通し、専門的知識を深める  
部署別学習会は年間平均12回開催し、部署の特殊性を活かした学習内容である。  
シミュレーション研修を積極的に取り入れている学習会が増えより実践的な学びにつながっている。
- (4) 配信を用いた視聴覚研修は各委員会や部署、看護委員会などの研修会で活用されているが、個人の利用率向上への取り組みが課題である。

6) 院外発表会

県立病院学会 1部署(7階)

テーマ 「長期臥床・拘縮のある患者へのティートリーとラベンダーのオイルパックを用いた爪ケアの効果」

ラダーとは??

ラダーとは梯子(はしご)を意味し、看護師としての専門知識や技術を段階的に身につけられるよう計画された教育プランです。

看護実践能力開発プログラムなどとも呼ばれ、病院ごとに設けられます。

<県立大島病院臨床倫理指針>

【臨床倫理指針の原則】

1. 患者さんへの十分な情報の提供により、理解と同意のもと医療を行う。
2. 提供する医療は、最小のリスクで最大の益がもたらされるよう努める。
3. 公平、公正な医療を行う。
4. 院内倫理委員会の方針に従う

**当院は敷地内全面禁煙です**

～皆様のご理解とご協力をお願いします。～

## ■お知らせ

### 院内の絵画・写真を更新しました。



奄美高校（美術部）のご協力をいただき、主に1階と2階の廊下に絵画を展示しています。



また、奄美写真クラブの皆様が撮影した写真を展示していますので併せてご覧ください。

今後も、定期的に更新されますのでご期待ください。



### 県立大島病院患者権利憲章

わたしたちは、患者様の次の権利を尊重します。

- 1 人間としての尊厳を尊重される権利
- 2 国籍、人種、信条、年齢、性別、社会的身分により差別されない権利
- 3 プライバシーを保護される権利
- 4 常に可能な限り、高度な医療を受ける権利
- 5 病院、治療方針について、必要な情報を得て、自分で決めることのできる権利
- 6 延命措置を選ぶ権利または断る権利
- 7 医療に従事する者の氏名、資格、役割を知る権利
- 8 診療記録の開示を求める権利